

令和 5 年 9 月 20 日

各 位

大阪市天王寺区上本町5丁目3番15号
株式会社サイネックス
代表取締役社長 村田吉優
(東証スタンダード コード番号 2376)
問い合わせ先
取締役常務執行役員企画開発本部長
吹ノ戸 忠
電話 06 - 6766 - 3333

北秋田市との官民協働事業『北秋田市くらしのガイドブック』発刊のお知らせ

—— 行政情報誌統一ブランド『わが街事典』 ——

株式会社サイネックスは、秋田県北秋田市（津谷永光市長）と『北秋田市くらしのガイドブック』を共同発行いたしましたので、お知らせします。また、本発刊にて『わが街事典』共同発行自治体数は1,064、累計発行版数は2,430となります。

1. 『北秋田市くらしのガイドブック』の共同発行について

北秋田市とは、官民協働の精神に基づき、住民サービスの向上および地域社会への貢献をはかるため、令和2年3月6日付にて『北秋田市くらしのガイドブック』を共同発行する旨合意しており、今般、次のとおり発刊にいたりました。北秋田市との共同発行は令和2年7月に引き続き2版目となります。この冊子は、北秋田市の「いざというとき」等の行政情報のほか、ユネスコ世界文化遺産に登録された伊勢堂岱遺跡・伊勢堂岱縄文館をはじめ、森吉山の樹氷や奥阿仁名瀑群、マタギ文化、北秋田バター餅BIG4等の自慢の特産品を紹介する総合地域情報誌として発行いたします。



発 行：北秋田市・株式会社サイネックス
タイトル：『北秋田市くらしのガイドブック』
発行年月：令和 5 年 8 月
発行部数：14,300 部

内 容：行政情報/北秋田市ガイド・
情報ツール/生活ガイド/企業広告等

行政情報誌統一ブランド『わが街事典』

地方自治体との官民協働事業として発行を進めております『市民便利帳』等行政情報誌の名称は、共同発行する自治体によりさまざまですが、統一ブランド『わが街事典』と命名し、地域を結ぶコミュニティメディアとしての位置付けを明確にしております。



2. 『わが街事典』発行の趣旨

地方経済において景気が低迷するなか、地域再生に向けて様々な取組みがなされております。官民協働による公共サービスの提供は、その取組みの中でも、重要な位置を占めるものと思われ
ます。いわゆるパブリック・プライベート・パートナーシップ（PPP）の手法は、行政のみで
は実現が困難なことでも、PPPを取り入れることにより可能となる新たな地域再生の取組みと
して注目されています。

当社は、PPPの理念に則り、官民協働発行による行政情報誌『わが街事典』の発行を、行政
に提案しております。官と民という文化や風土の異なる異分子結合により、化学反応を起こして
相乗効果を発揮し、地域イノベーションが創出されるという発想です。

官民協働で発行することにより、行政情報のみならず、歴史や文化、特産品や観光など、当社
が得意とする地域情報も掲載し、住民にとって利便性の向上のみならず、自分たちの街を再発見
する効果ももたらします。一方、地域の事業者にとっては、全家庭に配布されるオフィシャルな
媒体から、情報発信ができます。

当社は、地域社会の一員として、その再生に寄与するため、志を高く持ち、地域と協働して地
域一体型コミュニティメディア、『わが街事典』の発行を進めてまいります。

以 上

地方創生のプラットフォームへ

 株式会社サイネックス

<http://www.scinex.co.jp>